

令和3年(2021年) 月 日

山陽小野田市長 藤田 剛二 様

山陽小野田市基本構想審議会  
会長 池 北 雅 彦

第二次山陽小野田市総合計画に係る基本構想の改訂案について（答申）  
令和3年3月8日付け山企第599号で諮問のあった第二次山陽小野田市総合計画に係る基本構想の改訂案について、第二次山陽小野田市総合計画策定後に表面化した課題を踏まえた上で、この基本構想が山陽小野田市のまちづくりの指針となるものとの認識に立ち、委員それぞれの立場や経験を基に慎重に審議し、検討してまいりました。

当審議会は、基本構想の改訂案として示された「山陽小野田市の将来像」の改訂案をおおむね妥当なものとして認め、これに審議内容を整理し、修正を加えて別添のとおり答申します。

市長におかれましては、この答申を尊重して第二次山陽小野田市総合計画を改訂されるとともに、下記の意見を十分配慮して計画の実現に努められるよう要望します。

#### 記

- 1 社会情勢の変化に的確かつ柔軟に対応されたい。
- 2 基本構想において新たに示された「協創によるまちづくり」の推進に当たって、地域運営組織の導入等の新たな地域の仕組みづくりは、地域の諸課題を解決するために不可欠な取組である。市民や地域と協力しながら積極的に推進されたい。
- 3 人口減少を抑制していくためにも、子育て世代から選ばれるまちづくりが求められる。質の高い保育サービスの提供などにより、子育てしやすいまちづくりに努められたい。また、デジタル技術を活用しながら子どもの学びの充実に努められたい。
- 4 市民に住んでよかったと感じてもらえるよう、さらに、市外に対しては、本市に住んでみたい、あるいは訪れてみたいと感じてもらえるよう、本市の持つ魅力の積極的な発信に努められたい。